

<報道発表資料>

令和7年6月30日

京都市南区役所地域力推進室まちづくり担当

南区人権映画観賞会の開催

南区人権文化推進会議では、「すべての人の人権が尊重されるまちづくり」を推進するため、様々な人権啓発活動に取り組んでいます。

この度、8月の人権強調月間に合わせて、区民等の方々に広く人権問題について考え、見識を深めていただくため、「南区人権映画観賞会」を開催します。



©2021 ELEVEN ARTS STUDIOS / 「太陽の子」フィルムパートナーズ

【概要】

- 日時 令和7年8月13日（水）午前10時～午後0時30分（午前9時開場）
- 場所 京都市立開建高校ホール
（〒601-8467 京都市南区唐橋大宮尻町22）
- 内容 (1)「映画 太陽の子」上映会 ※バリアフリー字幕有
(2)映画監督による上映後特別講演 ※AIによるリアルタイム字幕有
- 定員 250名 （応募多数の場合抽選）
- 参加費 無料
- 持ち物 下足袋、上履き又はスリッパ

- 申込 「京都いつでもコール」HPの申込みフォームから。
HP <https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
- 期間 令和7年7月4日(金)～令和7年7月25日(金)



「京都いつでもコール」二次元コード

- HPから申し込めない方は、TELかFAXで、①氏名（ふりがな）、②郵便番号・住所、③電話番号、④同伴者全員（2名まで）の氏名（ふりがな）をお伝えください。
- 電話 075-661-3755
 - （年中無休、午前8時から午後9時まで受付）
 - FAX 075-661-5855
- おかけ間違いに御注意ください。



※申込多数の場合は、抽選になります。
※申込者1名に対し、同伴者2名まで申込み可能です。
※当選者には、8月上旬に、メール（HP申込みの方）か、当選はがきで連絡します。

- 運営 主催：南区人権文化推進会議、共催：南区役所、南区地域啓発推進協議会

<「映画 太陽の子」について>

【出演】柳楽優弥、有村架純、三浦春馬他 【監督】黒崎博
【あらすじ】かつて存在した“日本の原爆研究”。その事実を背景に、3人の若者の決意と揺れる思いを描いた300日の青春グラフィティ。

<上映後特別講演について>

【講師】黒崎博（映画監督・演出家）

教育番組やドキュメンタリーを学んだ後、ドラマの制作現場に。2010年、ドラマ「火の魚」で芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。これまでの作品にドラマ「帽子」(08)、「セカンドバージン」(10)、朝ドラ「ひよっこ」(17)、「警察庁長官狙撃事件」(18)、大河ドラマ「青天を衝け」(21)など。2021年には「映画 太陽の子」を公開。2022年に制作会社クロ・フィルムを立ち上げる。Netflixシリーズ「さよならのつづき」(24)。7月17日から連続ドラマ「しあわせな結婚」が放送される。



<開建高校へのアクセス>

JR 西大路駅徒歩5分

市バス「九条御前通」停下車徒歩3分



<バリアフリー対応について>

以下の①～③の項目について希望される方は、TEL、FAX、又はEメールで、以下申込先へ、7月25日（金）までに事前にお申込みください。また、その他の対応が必要な場合については、個別に御相談ください。

【バリアフリー対応項目】

- ①映画上映前後の講演時の手話通訳
- ②ヒアリンググループ席
- ③車イス席

【申込先】

南区役所地域力推進室まちづくり担当

（TEL 075-681-3417、FAX 075-671-9653、Eメール minami-machi@city.kyoto.lg.jp）

<原爆ポスター展も同時開催>

京都市も加盟する平和首長会議において、加盟都市が5,000都市を超えたことを記念して作成された「ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター」を使用したポスターを、同会場にて展示します。

<お問合せ先>

京都市南区役所地域力推進室まちづくり担当

電話：075-681-3417